2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名	ギークス株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	7060	URL	https://geechs.com
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役CEO	（氏名）	曽根原稔人
問合せ先責任者	（役職名） 取締役CFO	（氏名）	佐久間大輔　　(TEL) 050-1741-6928
半期報告書提出予定日	2026年11月13日	配当支払開始予定日	2026年12月４日

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（　機関投資家・アナリスト向け　）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	14,263	10.6	518	9.0	451	3.2	395	△7.5	243	△29.2
2026年３月期中間期	12,891	5.8	476	85.8	437	126.2	427	114.5	343	109.2

（注）包括利益　2027年３月期中間期　247百万円（△28.3%）　2026年３月期中間期　344百万円（　65.7%）

※EBITDA＝営業利益+減価償却費+のれん償却額+株式報酬費用+退職給付費用

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	23.96	23.95
2026年３月期中間期	33.32	33.32

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	7,553	3,068	40.3
2026年３月期	7,852	3,054	38.7

（参考）自己資本 2027年３月期中間期　3,044百万円　2026年３月期　3,039百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	10.00	―	20.00	30.00
2027年３月期	―	15.00			
2027年３月期(予想)			―	17.00	32.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,300	7.3	1,090	11.8	1,000	14.2	970	15.1	630	△2.0	62.01

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：有

新規　　ー社（社名）　ー　　、除外　　１社（社名）　株式会社アライヴ

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	10,330,709株	2026年３月期	10,330,709株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	171,200株	2026年３月期	171,200株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	10,159,509株	2026年３月期中間期	10,312,621株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
中間連結損益計算書 …… 7
中間連結包括利益計算書 …… 8
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（連結範囲の重要な変更に関する注記） …… 10
（連結子会社の事業年度等に関する事項の変更） …… 11
（セグメント情報等） …… 12
（企業結合等関係） …… 14

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当社グループはグランドビジョンに「21世紀で最も感動を与えた会社になる」を掲げ、「日本をDX・AXでアップデートする会社」として事業を展開しております。AI技術の急速な普及や企業のDX推進によってめまぐるしく変化する社会において、これまで培ったITフリーランス・グローバル人材のネットワークやデジタル人材育成といった事業アセットを活かし、顧客企業の変革課題に向き合い伴走いたします。戦略から現場への落とし込みまでを担うDX・AX実装支援の提供と、サービスの創造・進化を通じて常に成長し続けることで、永続的な企業価値向上を目指しております。当社グループは子会社７社を含む全３事業で構成されており、各事業セグメントは「IT人材事業（国内）」、「IT人材事業（海外）」、「Seed Tech事業」の３つに分類されております。

当中間連結会計期間（2026年４月１日～2026年９月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に、個人消費の持ち直しや企業収益の改善がみられるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中東情勢を巡る不透明感や物価上昇の継続、金融政策の正常化に伴う金利上昇や金融資本市場の変動の影響もあり、景気の先行きについては引き続き注視が必要な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは事業ポートフォリオの最適化を進め、これまで培ってきたITフリーランスや国内外の社員エンジニアの活用ノウハウを最大限発揮できるIT・DX・AI人材領域に特化した事業体制のもと、事業を推進してまいりました。AI技術の活用やデジタルトランスフォーメーションの推進によって、国内のデジタル関連市場規模は今後さらに拡大することが見込まれる一方、生成AIの普及に伴い、IT人材に求められるスキルは実装工程から課題定義やプロジェクトマネジメント等の上流工程へと移りつつあります。当社グループは、これまで培ってきたIT・デジタル領域におけるフリーランス人材やグローバル人材のネットワーク、ならびにリスキリングを通じた人材創出機能といったアセットを武器に、顧客企業の変革課題に向き合います。常に変化し続ける「未完の完成」を目指す伴走者として、日本社会をアップデートし続け、新たな経済成長に貢献してまいります。

当中間連結会計期間の売上高は14,263,241千円（前年同期比10.6％増）、営業利益は451,847千円（前年同期比3.2％増）、経常利益は395,654千円（前年同期比7.5％減）、親会社株主に帰属する中間純利益は243,470千円（前年同期比29.2％減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、2026年４月１日付で子会社間の合併を実施したことに伴い、従来「IT人材事業（国内）」に含めていた株式会社アライヴを「Seed Tech事業」に含めており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

＜IT人材事業（国内）＞

IT人材事業（国内）は、企業のDX・AX推進需要の高まりを背景に、AI関連案件やPM等の上流案件の獲得に注力した結果、売上高・利益ともに堅調に推移いたしました。当中間連結会計期間におきましては、「AX支援プラットフォーム」への進化に向けて、登録フリーランス向けのFDE（フォワード・デプロイド・エンジニア）育成プログラム等を通じたスキル転換を推進し、データベースの質的向上を進めております。高単価な上流案件の割合が増加したことで、平均受注単価およびテイクレートは上昇いたしました。また、首都圏以外の地域における稼働の拡大に取り組んだほか、登録フリーランスの正社員就業ニーズや企業の採用ニーズに応えるため、人材紹介サービスを強化しております。

この結果、当中間連結会計期間における当該事業分野の売上高は8,214,085千円（前年同期比1.8％増）、セグメント利益は703,916千円（前年同期比3.4％増）となりました。

＜IT人材事業（海外）＞

IT人材事業（海外）は、オーストラリアにおいて人材派遣事業やMSP事業（包括的な人材管理ソリューションを提供する事業）を展開しているLaunch Group Holdings Pty Ltdの業績を取り込んでおります。当中間連結会計期間におきましては、新経営体制のもとでKPI管理を徹底した営業活動を推進し、金融・保険業界を中心に新規顧客の獲得が進んだことで、人材派遣事業の売上が伸長いたしました。また、注力業界の選定と高マージン案件の選別受注により、人材派遣事業とMSP事業それぞれで売上総利益率が向上し、増収増益となりました。

この結果、当中間連結会計期間における当該事業分野の売上高は5,692,377千円（前年同期比28.6％増）、セグメント利益は63,334千円（前年同期比197.9％増）となりました。

＜Seed Tech事業＞

Seed Tech事業は、オフショア開発受託事業やデジタル留学事業、デジタル人材育成サービス「ソダテク」、および中小企業向けデジタル人材提供サービス「DX職 -デジショク-」を展開しております。当中間連結会計期間におきましては、円安の影響によりデジタル留学事業の生徒数が前年を下回り、減収となりました。一方、「DX職 -デジショク-」においては、展示会への出展強化等により全国の幅広い地域・業種からリードを獲得し、クライアント契約数が大幅に増加いたしました。今後の受注拡大に向けてコンサルタントの採用を進め、受注体制を強化しております。引き続き企業のDX・AI活用を強力にサポートし、社会課題の解決に貢献してまいります。

この結果、当中間連結会計期間における当該事業分野の売上高は393,585千円（前年同期比9.3％減）、セグメント損失は18,423千円（前年同期はセグメント利益26,524千円）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

①資産・負債及び資本の状況

(流動資産)

当中間連結会計期間末の流動資産の残高は前連結会計年度末と比較して220,462千円減少し、6,752,112千円となりました。これは主に売掛金及び契約資産が155,246千円増加した一方で、現金及び預金が378,007千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当中間連結会計期間末の固定資産の残高は前連結会計年度末と比較して78,282千円減少し、801,183千円となりました。これは主にリース資産が20,122千円、のれんが18,043千円、顧客関連資産が12,007千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当中間連結会計期間末の流動負債の残高は前連結会計年度末と比較して173,080千円減少し、3,011,725千円となりました。これは主に未払費用が280,349千円増加した一方で、短期借入金が130,707千円、未払金が159,562千円、未払法人税等が59,592千円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当中間連結会計期間末の固定負債の残高は前連結会計年度末と比較して139,900千円減少し、1,472,651千円となりました。これは主に長期借入金が133,566千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産の残高は前連結会計年度末と比較して14,237千円増加し、3,068,919千円となりました。これは主に為替換算調整勘定が5,280千円、新株予約権が8,921千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、資金という）は前連結会計年度末に比べ378,007千円減少し、3,369,054千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において、営業活動による資金の増加は190,542千円となりました（前年同期は390,302千円の収入）。これは主に、税金等調整前中間純利益395,654千円、未払金の減少額168,700千円、未払費用の増加額264,062千円、法人税等の支払額188,652千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において、投資活動による資金の減少は3,581千円となりました（前年同期は50,997千円の収入）。これは主に、資産除去債務の履行による支出4,170千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において、財務活動による資金の減少は515,197千円となりました（前年同期は329,498千円の支出）。これは主に、短期借入金の減少額138,694千円、長期借入金の返済による支出133,566千円、配当金の支払額202,753千円によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、2026年５月15日の「2026年３月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,747,062	3,369,054
売掛金及び契約資産	3,113,585	3,268,832
前渡金	18,364	－
前払費用	75,629	99,109
その他	25,177	20,399
貸倒引当金	△7,245	△5,283
流動資産合計	6,972,575	6,752,112
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,526	747
車両運搬具（純額）	78	54
工具、器具及び備品（純額）	3,134	2,880
リース資産（純額）	88,425	68,303
有形固定資産合計	97,165	71,985
無形固定資産		
のれん	246,597	228,553
顧客関連資産	332,219	320,211
その他	1,000	924
無形固定資産合計	579,817	549,690
投資その他の資産		
投資有価証券	25,410	22,268
敷金及び保証金	86,358	84,703
長期前払費用	7,972	715
繰延税金資産	41,748	28,899
その他	40,992	42,920
投資その他の資産合計	202,482	179,506
固定資産合計	879,465	801,183
資産合計	7,852,040	7,553,296

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,263,640	1,209,347
短期借入金	130,707	－
１年内償還予定の社債	21,000	11,000
１年内返済予定の長期借入金	267,132	267,132
リース債務	50,566	45,262
未払金	252,329	92,766
未払費用	298,866	579,216
未払法人税等	208,711	149,119
未払消費税等	259,687	232,736
契約負債	74,330	67,324
預り金	314,863	318,564
資産除去債務	4,170	－
その他	38,798	39,254
流動負債合計	3,184,806	3,011,725
固定負債		
社債	6,000	3,000
長期借入金	1,436,361	1,302,795
リース債務	58,069	39,325
繰延税金負債	78,602	90,763
退職給付に係る負債	13,866	14,312
資産除去債務	4,639	4,941
その他	15,013	17,513
固定負債合計	1,612,551	1,472,651
負債合計	4,797,358	4,484,376
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,112,414	1,112,414
資本剰余金	991,519	991,519
利益剰余金	939,983	942,186
自己株式	△99,973	△99,973
株主資本合計	2,943,943	2,946,147
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,028	△5,179
為替換算調整勘定	98,658	103,938
その他の包括利益累計額合計	95,630	98,758
新株予約権	15,009	23,931
非支配株主持分	98	81
純資産合計	3,054,682	3,068,919
負債純資産合計	7,852,040	7,553,296

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	12,891,665	14,263,241
売上原価	10,948,022	12,151,223
売上総利益	1,943,643	2,112,017
販売費及び一般管理費	1,505,995	1,660,170
営業利益	437,647	451,847
営業外収益		
受取利息	4,751	5,859
受取賃貸料	3,595	－
保険解約返戻金	4,590	－
その他	796	1,250
営業外収益合計	13,733	7,109
営業外費用		
支払利息	20,406	25,562
社債利息	205	162
為替差損	2,225	17,042
アドバイザリー費用	－	19,241
その他	981	1,294
営業外費用合計	23,819	63,302
経常利益	427,562	395,654
特別利益		
新株予約権戻入益	76,664	－
特別利益合計	76,664	－
税金等調整前中間純利益	504,226	395,654
法人税、住民税及び事業税	151,172	131,186
法人税等調整額	4,379	20,997
法人税等合計	155,552	152,184
中間純利益	348,673	243,470
非支配株主に帰属する中間純利益	5,014	0
親会社株主に帰属する中間純利益	343,659	243,470

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	348,673	243,470
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,654	△2,151
為替換算調整勘定	△7,336	5,882
その他の包括利益合計	△3,682	3,731
中間包括利益	344,991	247,201
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	341,124	247,202
非支配株主に係る中間包括利益	3,866	△1

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	504,226	395,654
減価償却費	20,768	39,739
のれん償却額	18,043	18,043
株式報酬費用	4,691	8,921
新株予約権戻入益	△76,664	－
保険解約返戻金	△4,590	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△4,654	△1,970
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△5,084	445
受取利息及び受取配当金	△4,752	△5,859
支払利息	20,406	25,562
社債利息	205	162
為替差損益(△は益)	－	13,755
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	△164,267	△80,815
棚卸資産の増減額（△は増加）	△17	5
仕入債務の増減額（△は減少）	1,023	△55,159
未収入金の増減額（△は増加）	275	△3,573
契約負債の増減額（△は減少）	△4,460	△9,141
未払金の増減額（△は減少）	△44,976	△168,700
未払費用の増減額（△は減少）	207,337	264,062
未払又は未収消費税等の増減額（△は減少）	△85,243	△27,898
預り金の増減額（△は減少）	108,519	△15,074
その他	△79,022	1,924
小計	411,765	400,082
利息及び配当金の受取額	5,751	5,291
利息の支払額	△20,470	△26,177
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△6,743	△188,652
営業活動によるキャッシュ・フロー	390,302	190,542
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△832	△907
無形固定資産の取得による支出	△280	－
敷金及び保証金の差入による支出	△5,938	△210
敷金及び保証金の回収による収入	48,557	1,752
資産除去債務の履行による支出	－	△4,170
保険積立金の解約による収入	4,590	－
事業譲渡による収入	5,000	－
その他	△100	△46
投資活動によるキャッシュ・フロー	50,997	△3,581
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	126,340	△138,694
社債の償還による支出	△13,000	△13,000
長期借入金の返済による支出	△135,234	△133,566
リース債務の返済による支出	△51,911	△27,182
自己株式の取得による支出	△48,997	－
配当金の支払額	△103,244	△202,753
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△103,541	－
その他	90	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△329,498	△515,197
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,449	△14,288
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	110,351	△342,524
現金及び現金同等物の期首残高	3,606,612	3,747,062
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	－	△35,482
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,716,964	3,369,054

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１　配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額（千円）	１株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日
2025年５月14日取締役会	普通株式	利益剰余金	103,304	10.00	2025年３月31日	2025年６月13日

２　基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額（千円）	１株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日
2025年11月13日取締役会	普通株式	利益剰余金	102,426	10.00	2025年９月30日	2025年12月１日

３　株主資本の著しい変動

（子会社株式の追加取得）

当社は、2025年８月29日付で連結子会社であるLaunch Group Holdings Pty Ltdの株式を追加取得し、完全子会社といたしました。この結果、当中間連結会計期間において資本剰余金が70,837千円減少し、当中間連結会計期間末において資本剰余金が991,468千円となっております。

（自己株式の取得）

当社は、2025年６月27日開催の取締役会において、当社普通株式200,000株、取得価額の総額100,000千円を上限とした自己株式の取得を決議し、当中間連結会計期間において当社普通株式87,800株を48,997千円で取得いたしました。この自己株式の取得により、当中間連結会計期間末において自己株式が48,997千円となっております。

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１　配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額（千円）	１株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日
2026年５月15日取締役会	普通株式	利益剰余金	203,190	20.00	2026年３月31日	2026年６月12日

２　基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額（千円）	１株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日
2026年11月13日取締役会	普通株式	利益剰余金	152,392	15.00	2026年９月30日	2026年12月４日

３　株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

（連結範囲の重要な変更に関する注記）

2026年４月１日において、当社の連結子会社である株式会社アライヴは、当社の連結子会社であるシードテック株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であった、NexSeed Inc.及びSEED TECH PHILIPPINES INC.については同日現在の財務諸表を使用し連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っておりましたが、両社が決算日を３月31日に変更したことに伴い、当中間連結会計期間は2026年１月１日から2026年３月31日までの３か月分の損益について利益剰余金で調整し、キャッシュ・フローについては現金及び現金同等物の期首残高で調整し連結しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	中間連結損益計算書（注）２
	IT人材事業（国内）	IT人材事業（海外）	Seed Tech事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,034,113	4,427,615	429,936	12,891,665	－	12,891,665
セグメント間の内部売上高又は振替高	31,664	－	3,840	35,504	△35,504	－
計	8,065,777	4,427,615	433,776	12,927,170	△35,504	12,891,665
セグメント利益	681,094	21,256	26,524	728,875	△291,227	437,647

（注）１．　セグメント利益の調整額△291,227千円には各報告セグメントに配分していない全社費用△301,127千円及びセグメント間消去取引9,900千円が含まれております。

２．　セグメント利益の合計額と調整額の合計は中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．主要な地域別の売上高に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			
	IT人材事業（国内）	IT人材事業（海外）	Seed Tech事業	計
売上高				
国内（日本）	8,034,113	－	429,936	8,464,049
豪州	－	4,427,615	－	4,427,615
外部顧客への売上高	8,034,113	4,427,615	429,936	12,891,665

（注）外部顧客への売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	中間連結損益計算書（注）２
	IT人材事業（国内）	IT人材事業（海外）	Seed Tech事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,182,140	5,692,377	388,723	14,263,241	－	14,263,241
セグメント間の内部売上高又は振替高	31,944	－	4,861	36,806	△36,806	－
計	8,214,085	5,692,377	393,585	14,300,047	△36,806	14,263,241
セグメント利益又は損失（△）	703,916	63,334	△18,423	748,827	△296,980	451,847

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額△296,980千円には各報告セグメントに配分していない全社費用△303,913千円及びセグメント間消去取引6,932千円が含まれております。

２．セグメント利益又は損失の合計額と調整額の合計は中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．主要な地域別の売上高に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			
	IT人材事業（国内）	IT人材事業（海外）	Seed Tech事業	計
売上高				
国内（日本）	8,180,740	－	380,970	8,561,711
豪州	－	5,686,282	571	5,686,853
その他	1,400	6,094	7,182	14,676
外部顧客への売上高	8,182,140	5,692,377	388,723	14,263,241

（注）外部顧客への売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

2026年４月１日付で「IT人材事業（国内）」の株式会社アライヴを「Seed Tech事業」のシードテック株式会社に吸収合併いたしました。これに伴い、従来「IT人材事業（国内）」に含めていた株式会社アライヴの事業を「Seed Tech事業」に含めております。なお、当中間連結会計期間の比較情報として開示した前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しております。

（企業結合等関係）

（共通支配下の取引等）

連結子会社間の吸収合併

当社は、2026年４月１日に、当社の連結子会社であるシードテック株式会社を存続会社とし、同じく連結子会社である株式会社アライヴを消滅会社とする吸収合併を実施いたしました。

１．企業結合の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

①結合企業

名称　　シードテック株式会社

事業の内容　　IT人材育成事業、DX職-デジショク-事業、開発事業

②被結合企業

名称　　株式会社アライヴ

事業の内容　　ITソリューション事業、IT技術者派遣事業、受託開発事業

(2) 企業結合日

2026年４月１日

(3) 企業結合の法的形式

シードテック株式会社を存続会社、株式会社アライヴを消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

シードテック株式会社

(5) その他取引の概要に関する事項

営業ノウハウの共有による競争力の強化、重複業務の統合を通じた業務効率の向上およびコスト削減を行うことで、収益基盤の強化を図るため、本合併を行うことといたしました。

２．実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年１月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年１月16日）に基づき、共通支配下の取引として会計処理を実施しております。